

# 地球環境問題から 横浜の緑を考えるシンポジウム

横浜市は150万本植樹行動を提起していますが、実際には、開発業者や米軍のために緑の七ヶ敷を破壊し、大量の樹木を伐採しようとしています。地球温暖化は待ったなしの状況です。横浜のいまある森をこれ以上破壊させず守るため、森の大切さを知り、手をつなぎ、地球温暖化に歯止めをかけていきたいと思えます。シンポジウムに是非ご参加ください。

と き 2007年12月1日(土)

13時開場 13時30分~16時30分

参加費：無料(先着順150名)、ただし資料代は別途必要

ところ 関東学院大学フォアサイト2 1棟2階F202教室

(京急金沢八景駅徒歩15分。バス便もあり。地図等詳細は裏面をご覧ください。)

内容 ・音楽 三線と歌 みるく

・講演 地球温暖化問題と森林・植物の役割

鈴木力英さん(海洋研究開発機構サブリーダー・理学博士)

・講演 森は生きている・森の魅力 神保賢一路さん(神奈川県鳥獣保護観察指導員)

・開発対象地域からの報告

上郷開発 池子の森 カーリットの森 柳谷戸 神奈川・栗田谷

・会場から質問など発言

上郷 開発前(現在)

豊かな森と文化遺産が広がっています。

開発後(4年後)

森は大幅減少しコンクリートに覆われヒートアイランド化する



主催 横浜の緑を考えるネットワーク(準備会)

協賛 池子の森を守る会、上郷開発を考える会、六浦(柳谷戸)の緑を守る会、カーリットの森を守る会、ヨコハマ市民環境会議、関東学院大学まちづくり研究会、神奈川グリーンネット、栗田谷の自然と環境をまもる会、環境・地域政策研究会

連絡先 安田八十五(関東学院大学経済学部教授) HP: <http://www.yasuda85.com/>

〒236-8501横浜市金沢区六浦東1-50-1 TEL&FAX045-786-9802